

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課がん対策推進室長 半場 祐子 電話番号 0852-22-6963

|         |   |             |
|---------|---|-------------|
| 事務事業の名称 | しまねがん対策強化事業   |             |
| 目的      | (1) 対象  | 医療機関        |
|         | (2) 意図  | がん医療水準の均てん化 |
| 事業概要    | ①がん診療連携拠点病院機能強化事業：拠点病院の医療従事者の研修参加、がん相談及び院内がん登録等に係る経費の一部を補助<br>②がん医療従事者育成支援事業：がんの専門看護師や認定看護師等、がん医療従事者の育成支援に係る経費の助成<br>③がん相談員資質向上事業：がん相談員を対象とした研修、ピアサポーター相談会の開催、がん患者の就労相談会等の開催<br>④地域がん登録事業：地域がん登録業務を島根大学医学部附属病院に委託実施 |             |

## 2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名                 | がん薬物療法及びがん放射線療法専門医数 | 年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 単位 |
|------------|---------------------|---------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|----|
|            |                     |                     | 目標値 |       | 16.00 | 16.00 | 16.00 | 16.00 |    |
| 式・定義       | がん薬物療法及びがん放射線療法専門医数 |                     | 実績値 | 12.00 | 12.00 | 14.00 | 15.00 |       | 人  |
|            |                     |                     | 達成率 |       | 75.00 | 87.50 | 93.80 |       | %  |
| 指標名        |                     |                     | 年度  | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 単位 |
|            |                     |                     | 目標値 |       | 0.00  | 0.00  |       |       |    |
| 式・定義       |                     |                     | 実績値 | 0.00  | 0.00  | 0.00  |       |       |    |
|            |                     |                     | 達成率 |       | 0.00  | 0.00  |       |       | %  |

## 3. 事業費

|             | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 59,028 | 66,737 |
| うち一般財源 (千円) | 36,150 | 38,225 |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・島根県がん対策推進計画に基づくがん医療従事者数の目標値について、がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん薬物療法に精通した薬剤師は、比較的順調に確保されているが、その他の医療従事者等は低い数値にとどまっている。【がん薬物療法専門医：(H25) 14人→(H26) 15人 がん看護専門看護師：(H25) 1人→(H26) 3人 がん薬物療法に精通した薬剤師：(H25) 12人→(H26) 14人】  
 ・がん相談員を対象とした研修会を2回開催し、64名が参加した。また、ピアサポーター相談会を拠点病院を中心に10回開催し、53名の患者等から相談があった。また、就労相談会を島根大学医学部附属病院において4回開催し、5名の患者から相談があった。  
 ・院内がん登録の実施機関数が1機関増え、13箇所になった。また、がん登録精度DCNIは16.1%（H25年度：21.1%）となった。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん薬物療法に精通した薬剤師については、増加した。  
 ・がん専門看護師は、がん診療連携拠点病院において、チーム医療のキーパーソンとして活動している。  
 ・がん相談員を対象とした研修会を開催したことにより、資質向上を図ることができた。また、ピアサポーター相談会は患者の満足度が高かった。  
 ・がん登録の精度向上を図ることができた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・職種によって、養成や確保が進んでいない医療従事者がある。  
 ・がんに関する相談のうち、がん患者の就労問題に対する理解が進んでいない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・県としては、がん医療従事者の人材養成のための支援に努めているが、各病院における医師確保が厳しい状況にあることや、看護師などを長期に研修派遣できる体制でないこと等から、結果につながっていない。  
 ・がん患者の就労に関する現状、ニーズ、課題等の認知度が低い。

### ③原因を解消するための「課題」

・がん医療水準の向上の重要性について、病院長や病院の看護管理者・師長等に認識していただき、看護師などを研修派遣できる環境をつくっていただく。  
 ・事業所で、患者に配慮すべきことや具体的取組方法、相談窓口等の情報が不足している。また、関係機関（企業、医療機関、ハローワーク、行政等）の連携が十分でない。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・がん医療水準の向上のためには、人材養成は不可欠な要素であり、病院と連携し、引き続き研修参加等への経費支援を行いながら、医療従事者の確保に努める。  
 ・がん患者の就労問題の理解促進のため、事業所等への啓発や情報提供を強化  
 ・社会保険労務士など専門家と連携した相談支援体制の強化  
 ・関係機関による連携体制の構築

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）